

二十歳の恋 (1962)

L' AMOUR A 20 ANS
LOVE AT TWENTY [米]

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ

製作国 フランス/イタリア/日本/西ドイツ/ポーランド

色彩 B&W

時間 121分

初公開日 1963/04/12

公開情報 東和

【解説】

五カ国の俊鋭がオムニバス形式で、それぞれの都市の青春を描く競作集。各篇の間にG・ドルリュウの美しい主題歌が流れ、H・C・ブレッソンのスチールが挿入される。第一話は仏のトリュフォー作で、J・P・レオ扮する彼の分身A・ドワネルの十七歳の初恋（と失恋）を描く。レコード工場で働く彼はクラシック音楽会で知りあったコレットに恋し、彼女の家の真向かいに越すのだが……。続く伊篇は、一人の青年を間に向き合う二人の女の感情の流れを描くロッセリーニの息子レンツォの初監督作。次の日本篇は石原慎太郎脚本・監督で、小松女高生殺しにヒントを得た、労働者青年の歪んだ欲望の果てを描く。次いで独篇はプレイボーイがふとした情事から子供を作り、真実の愛に目覚める話で、マックス・オフルスの息子マルセルのこれまた処女作。最後にポーランドのワイダ篇で、チブルスキーの主演で、戦後派の若い娘と戦中派の男の埋めようのない断絶を活写し、少女に扮するバルバラ・ラスが好演。正直、頭と尻尾にしか餡のない鯛焼きを食べるようで、ワイダとトリュフォーばかり印象に残り（陰惨で誤った偏見に満ちるがゆえ、石原作品も逆の意味で印象深い）、評価に困る作品だ。

【クレジット】

監督	フランソワ・トリュフォー	Francois Truffaut
	レンツォ・ロッセリーニ	Renzo Rossellini
	石原慎太郎	
	マルセル・オフルス	Marcel Ophuls
	アンジェイ・ワイダ	Andrzej Wajda
製作	ピエール・ルスタン	Pierre Roustang
脚本	フランソワ・トリュフォー	Francois Truffaut
	レンツォ・ロッセリーニ	Renzo Rossellini
	石原慎太郎	
	マルセル・オフルス	Marcel Ophuls
	イエジー・スタヴィンスキ	Jerzy Stawinski
撮影	ラウル・クタール	Raoul Coutard
	マリオ・モントゥーリ	Mario Montuori
	林田重男	
	ウォルフガング・ウォルト	
	イエジー・リップマン	Jerzy Lipman
音楽	ジョルジュ・ドルリュウ	Georges Delerue
	クリストファー・コメダ	Christopher (Krzystof) Komeda
出演	ジャン＝ピエール・レオ	Jean-Pierre Leaud

エレオノラ・ロッシ・ドラゴ Eleonora Rossi Drago
クリスティナ・ガローニ
古畑弘二
田村奈己
クリスチャン・デーメルル
ズビグニエフ・チブルスキー Zbigniew Cybulski
バルバラ・ラス Barbara Lass
マリー＝フランス・ピジェ Marie-France Pisier